

## 学級・講座の参加者の数

教育委員会では、青少年・婦人・高齢者などを対象にした様々な学級・講座を開催しているが、五十二年度に参加した者の数は、表1に示すとおりである。

## 公民館の数

公民館数は、図2に示すとおりである。全体的にみると、本館は増加の傾向を示している。

図4 本館・独立館の構造経過年数別割合

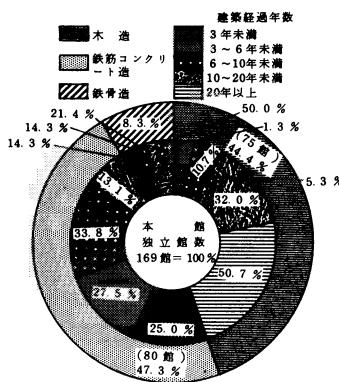


図6 本館の公民館主事数

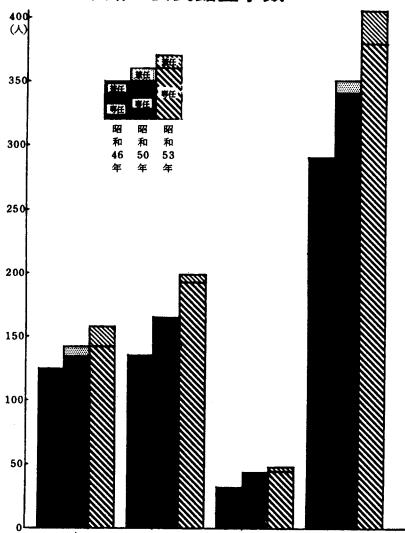
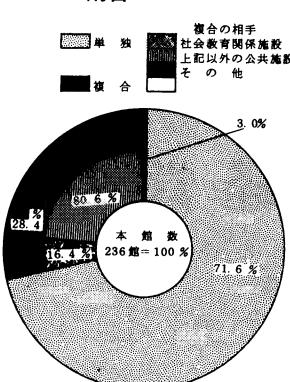


表2 社会教育施設数 (昭和53年5月1日現在)

区分	公民館	図書館	博物館	青少年教育施設	婦人会館	社会教育会館	社会体育施設	社会教育関係施設
市立	203	26	1	9	—	—	78	23
町立	189	1	—	2	—	—	126	17
村立	54	—	—	—	—	—	39	7
県立	—	7	1	2	—	—	9	2
私立	1	2	3	—	—	—	—	—
合計	447	36	5	13	—	—	252	49

図3 単独・複合別公民館数の割合



向を示しているのに対し、分館は、逆に減少の傾向を示している。また、本館と分館を比較してみると、各年度とも、市は本館よりも分館が多いに対して、町・村では本館の方が多くなっている。

## 本館の構造等

本館の建物を、単独施設と複合施設（他の公共施設等と共に設置されているもの）とにわけその割合をみると、

図5 独立館の建物の規模別本館数

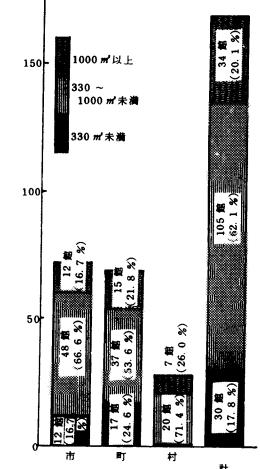


図3に示すとおりであり、単独施設が全体の七割を占め、複合施設が三割となっている。更に、複合施設の相手方は、その八〇・六%が、市役所・町村役場の支所、農協等の社会教育関係以外の公共施設によって占められている。

次に、単独施設を構造別と建物経年数別にその割合をみてみると、図4のとおりである。構造別では、木造四四%、鉄筋四七・三%、鉄骨八・三%となつており、その経過年数をみると、

## 公民館主事の数

公民館主事の数は、図6のとおり、市町村すべて、調査ごとに増加の傾向を示している。

特に、専任の公民館主事の増加が目立つている。また、館数が四十六年とほぼ同様なのに、公民館主事の数は、一・四倍と、館数の伸びを上回っている。

## 社会教育施設の数

昭和五十三年五月一日現在の社会教育施設の数は、表2に示すところであり、教育委員会の所管する婦人会館・社会教育会館は、本県には設置されてない。

木造建物の約半数が二十年以上を経過している。

また、単独施設を規模別にみると、図5のとおりであり、千平方メートル以上の大規模公民館が二〇・一%あるのに対し、公民館施設基準を下回るのも、大規模公民館とほぼ同じ割合の数になつていて。特に町では二四・六